

国道 10 号線の通行止めの日は、通る車が少なく、静かな日中が不思議な感じでした。

有水中学校校長室より

令和 6 年 1 月 25 日(木)

文責 木宮 崇子

あけましておめでとうございます。

始業式での話(要約)

元旦に北陸で甚大な地震がありました。厳寒の中の水も電気もない避難生活はどれだけ大変なのだろう・・・。大学や高校の入試があるのに力を出し切れるのだろうか・・・。遠方の地で起こっている事態に思いを馳せてください。今すぐ何かできることはなくても、思いを馳せることで、優しい心が育ちます。人間として成熟していきます。また、二日には羽田空港で飛行機が炎上するという事故が発生しました。炎に包まれた飛行機から全員が避難したという報を聞き、心から驚きました。乗務員の適切な判断と、乗客の冷静な行動が奇跡の脱出を可能にしたのでしょう。今の時代に集団行動なんて役に立つのか?という考えもあるかもしれませんが、究極の状況では役に立つ訓練なのだと改めて感じました。

私たちの生活はいつ何が起こるか予想できません。学校生活の中で、自分の命は自分で守る判断力を身に付け、他人の困難に思いを寄せる優しい心を持った成熟した人に成長してくれることを願っています。

先生方からの話

田原先生の話：学習習慣を身に付けましょう。習慣はいきなり身につきません。前回の自分よりバージョンアップするという経験を積み上げよう。人と比べるのではなく前の自分と比べてみよう。3 学期は何か新しいことに挑戦してみよう。

吉行先生の話：「勝利の女神は細部に宿る。」細かいところに目を向けていかないと伸びていかない。自分にできることを一つ一つ取り組んでいくことが、自分を成長させる。今年の干支の竜のように登っていこう。

河野先生の話：セルフコントロール力をつけましょう。早寝・早起・朝ごはんが基本です。3 学期は受験や修学旅行がある。体調がすぐれないと 100%力を出したり、楽しんだりできない。後悔のないように。